

新型コロナウイルスへの対応

文教厚生委員会レポート

新型コロナウイルス

【新型コロナウイルス関連】

健康保険課での対応は

健康保険課の対応と今後の見通しは。

Q まず、住民に対して基本的な感染対策について、様々な媒体を活用しながら周知を行っている。

A 今後、国から「緊急事態宣言」が発令された場合、法改正に適應できるように、準備をしている段階。



感染対策でビニールを張った役場窓口

ゴミ袋の在庫は

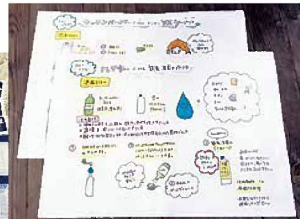
Q 店頭で一時期品薄になっていたが、在庫は大丈夫か。

A 在庫は確保されている。発注は1年間分を見越して作成するが、現在は通常の2倍以上の数量を出荷し対応している。

業者の生産拠点は中国だが、新型コロナウイルスの影響で他の地域に拠点を移して生産できるように準備中と聞いている。又、国内メーカーにも追加生産を依頼している。



ゴミ袋の陳列棚



消毒液と簡易マスクの作り方



配布されたマスク

また、感染対策用の物品等については、調達困難になっている状況を踏まえ、町の備蓄マスクを高リスクと言われる高齢者や基礎疾患のある方に対して約1万2千枚を配布した。マスクは予備費を活用し発注しているが、納品の目途がたっていない。

Q 町に感染者が発生した場合の対応は。

A 菊池保健所管内で感染者が発生した場合、県から町に連絡があるが、原則として個人情報提供されない。

住民に対しては感染情報の発信と感染対策の強化について周知する。

感染者が園児や児童、社会福祉施設の入所者等の場合、施設関係者への感染拡大防止の観点から、本人または保護者、家族の同意を得たうえで、個人情報が町に提供される。住民等に対する情報発信の内容については県と協議のうえ、ケース毎に判断する。

※3月の議会時点での会議の内容です。

保育士確保と待機児童解消

Q 保育士が確保できないと待機児童解消につながらない。昨年度の成果と今後の目標は。

A 保育補助者を雇用するための強化事業は10園要望があり6園の実施。保育体制強化事業は9園から要望があり5園の実施。人員確保が難しい。今後、町で実施する保育園見学ツアー参加者や保育園実習生にも声をかけ人材確保につなげたい。

町施設の名称

店頭にならぶのは10月以降の予定。



黄色と緑の極小サイズ作成予定

Q 町の施設の名称は町民から一番わかりやすい呼び名で。

A 大津町町民交流施設は、町民から親しまれている「オークスプラザ」を通称として改正。生涯学習センターは現行のまま。



町内の幼稚園